

操業後における環境配慮事項

分類	目的	環境配慮項目	環境配慮事項
地球環境保全への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギー等の導入促進及び省エネルギーの促進 ・二酸化炭素等温室効果ガスの排出抑制 	稼働時における自然エネルギーの活用、省エネルギー・温室効果ガス排出抑制対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンエネルギー（風力・太陽光）の利用、省エネルギー型機器などの使用 ・敷地、壁面、屋上の施設緑化 ・熱帯産木材の使用削減、間伐材製品の積極的利用 ・雨水利用設備、節水利用機器の使用 ・低燃費車の使用、エコドライブ等の自動車の省エネルギー対策 ・廃熱の有効活用 ・冷暖房温度、照明の適正管理 ・節水対策の徹底 ・通勤バスや相乗り通勤等によるマイカー利用の抑制 ・モーダルシフトによる二酸化炭素の排出削減
		環境教育・環境保全活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員への環境教育の実施 ・省エネ、温暖化防止に関するセミナー等の実施又は参加
資源循環型社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の発生及び排出の抑制 	稼働時における廃棄物の発生・排出抑制対策、適正処理の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・使い捨て製品の使用や購入の抑制 ・廃棄物が発生しにくい製造工程の検討 ・金属・紙・木屑、廃液等の回収設備の使用 ・廃棄物の排出を抑制する設備の使用 ・廃棄物の分別の徹底、適正処理
		環境教育・環境保全活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員への環境教育の実施 ・清掃活動、地域美化活動の実施又は参加
	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の循環利用の推進 	稼働時における資源の循環利用	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県グリーン製品やその他リサイクル製品の積極的活用 ・梱包材、包装材の再利用 ・紙バック、食品トレイ、アルミ・スチール缶、ペットボトル等のリサイクル推進 ・使用済み用紙の有効利用 ・製造工程で発生する廃棄物の再利用化のための施設の使用
		環境教育・環境保全活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員への環境教育の実施 ・資源のリサイクルに関するセミナー等の実施又は参加

自然環境の保全とやすらぎや潤いのある身近な環境の保全及び創造	・多様な野生生物種の保護、生態系の保全	稼働時における野生生物への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・敷地内の残存緑地、ビオトープ、動物の移動経路等の保全 ・敷地内の緑化の推進 ・野生生物に配慮した照明等の使用 ・進入防止柵等の設置等による接触事故の防止 ・排水の適正な処理の実施 ・鳥類の衝突防止対策
		自然環境教育・環境保全活動の実施等	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員への自然環境教育 ・周辺住民との連携による植樹活動等環境保全活動の実施又は参加
	・美しい景観の保全・形成	稼働時における景観への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・広告・看板、照明等のデザイン・色彩の工夫 ・敷地内の緑化の推進
		環境保全活動の実施等	<ul style="list-style-type: none"> ・景観保全のための活動の実施・イベント等への参加等
安全で良好な生活環境の確保	・大気環境の保全	稼働時における大気汚染・悪臭防止対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・防じんシートや散水等による粉じんの拡散防止 ・排出ガス対策型機械の使用 ・清掃の徹底、臭気の発生源の適正な管理 ・大気汚染物質の浄化 ・クリーンエネルギーの利用 ・低NOxバーナー、2段階燃焼、排ガス再循環方式等の施設、排煙脱硝・硫装置、集じん装置等の使用 ・臭気が漏れないような施設、脱臭装置の使用
	・水環境の保全	稼働時における水質対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水の高度処理、監視体制の確立 ・水質汚濁に配慮した薬剤の使用
	・土壌環境及び地盤環境の保全	稼働時における土壌汚染、地盤沈下対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌汚染に配慮した薬剤の使用 ・地盤沈下に配慮した揚水量の設定 ・有害物質の適正な管理
	・地域における生活環境の保全	稼働時における騒音・振動の抑制対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民のライフスタイルを考慮した営業時間の設定 ・遮音壁等の設置 ・車両走行ルート分散 ・低騒音・振動型機械等の使用
	・化学物質による環境リスクの低減	稼働時における有害化学物質による環境汚染防止対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・PCB廃棄物の確実かつ適正な処理 ・ダイオキシン類の排出削減 ・化学物質の適正な管理
環境コミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> ・県民、民間団体等に対する情報公開、相互理解を深める環境コミュニケーションの推進 	